

地域金融機関のための 伴走支援力向上プログラム

中小企業基盤整備機構中部本部

2024年6月

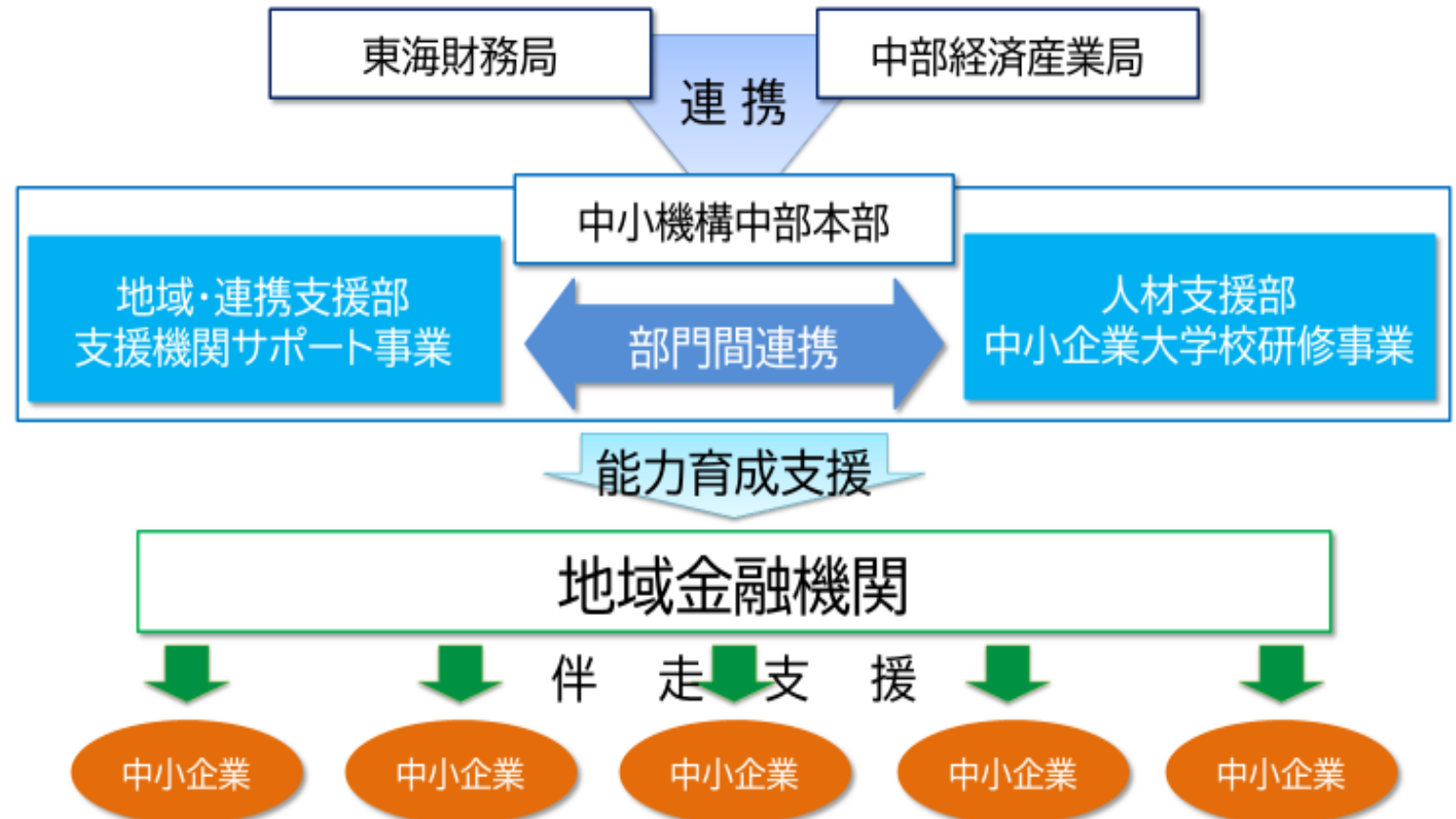
本プログラムの概要

<目的>

地域金融機関に対し、中小企業が直面する多様な課題への支援手法を学ぶとともにグループワークでの学習を通じて、伴走支援力の一層の向上を目指す。

<実施体制>

- ✓ 中小機構中部本部、東海財務局、中部経済産業局の連携事業
- ✓ 2015年度に開始して以来、**2024年度が10回目の開催**
- ✓ **伴走支援力向上**を軸としつつ、**支援ニーズの変化**や**業種の特性**に合わせたカリキュラム構成



金融機関職員が伴走支援を行う上で必要な要素をパッケージング

地域・連携支援部（支援機関サポート事業）

基礎編（座学）

- ✓ 7月から10月まで毎月1回（全4回）の講義。
初回のみリアル、2～4回目はオンラインで実施。
- ✓ 1回当たりの講義は約4～6時間（AM2時間
PM4時間程度）

【実施テーマ】

- ・伴走支援の最新情報、金融施策、中小企業施策
- ・業種別基礎知識、人手不足対策、価格転嫁対策
- ・事業承継 ・PDCA管理 ・マーケティング支援
- ・カーボンニュートラル 等

人材支援部（中小企業大学校研修事業）

応用編（演習）

- ✓ 10月末に中小企業大学校瀬戸校にて集合研修
（2日間・12時間）を実施
- ✓ 参加者がグループワークにより「対話」「ヒアリング」
の態度を習得
- ✓ 伴走支援に有効なフレームワークである「ローカル
ベンチマーク」「経営デザインシート」を活用しつつ
のロールプレイングで実践的支援手法を学習

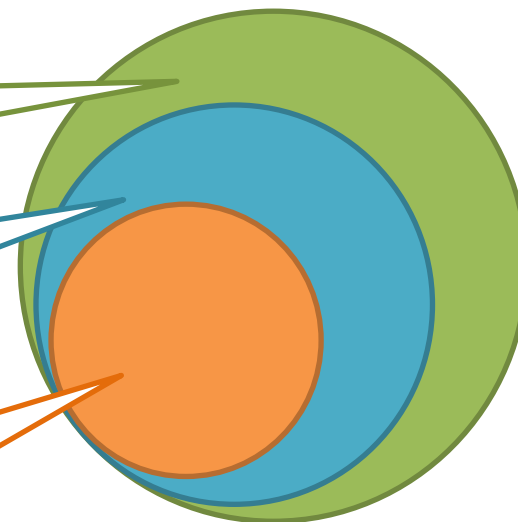
<過去の受講実績>

- ✓ 令和5年度は26機関、47名が受講。
- ✓ 2015年度からの9年間で、**42機関、301名**が受講。受講した
42機関のうち、金融機関が37機関、残り5機関は信用保証協会、
ベンチャーキャピタル、中部経済産業局など。
- ✓ 東海3県の金融機関38機関のうち、**92%に当たる35機関**に本
プログラムの受講実績がある。（R5年度は、**富士信金（静岡県）、**
飯田信金（長野県）からも新たに受講があった。）
- ✓ 受講実績のある金融機関35機関のうち、34機関は複数回本プロ
グラムを受講している。**リピート率は97%。**

東海3県の金融
機関38機関

本プログラムの
受講実績有り35機関

本プログラムを複数回
受講**34機関**



効果

- ✓本プログラムの受講者が中心となって、**企業支援のプロジェクトチーム**(女性経営者への支援を行うチーム、ローカルベンチマークを活用して支援を行うチーム)**が発足**した。(信用保証協会)
- ✓本プログラムの受講を通じて、**職員の企業支援能力の底上げ**がされている。(地方銀行)

評価

- ✓普段現場を見ることのできない本部担当者が、中小企業の事業性評価について学ぶ場は**有意義**。(地方銀行)
- ✓**自社では実施困難な講義内容**であり、来年度も受講させたい。(地方銀行)

要望

- ✓本プログラムの受講者が中心となり、周囲の職員にも影響を及ぼして、各金融機関の**経営支援能力が強化されることを期待**している。(東海財務局)
- ✓中小機構には、**金融機関からのニーズを踏まえた上で**、引き続きサポートをお願いしたい。(中部経済産業局)

- ・各金融機関および連携先からは本プログラムに対して一定の評価と期待が寄せられています。
- ・実際に、本プログラムを受講し支援能力を高めた金融機関職員が中小企業支援において力を発揮しています。
- ・今後も中小・小規模事業者の事業再構築および生産性向上を推進するために、地域金融機関の伴走支援をサポートするプログラムを目指します。

■ お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部

名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル4階

電話 052-201-3009 / E-Mail chubu-chiikirenkei@smrj.go.jp

担当 地域・連携支援課（畠山、若森、上野）